

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	令和4年度第3回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	令和5年3月20日 午前10時30分～正午	場 所	木津川市役所 第2北別館2階会議室
出 席 者	委 員	19人	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 0人
	庶 務	こども宝課	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第2期木津川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて【資料1】</p> <p>(2) マスクの考え方の見直し等について【資料2】</p> <p>(3) 令和5年度保育施設入園申込状況（報告）【資料3】</p> <p>(4) あそびでつながる『PLAYFUL PARK』（報告）【資料4】</p> <p>(5) 医療的ケア児受け入れに係るガイドラインの策定について（報告）【資料5】</p> <p>(6) その他【資料6】【資料7】</p> <p>4 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1 開会</p> <p>司会進行により開会。事務局より会議成立要件定足数の報告。（市長あいさつは割愛）</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>安藤会長より、本日の会議録の署名委員について、会長のほか東谷委員を会長から指名された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第2期木津川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて、資料1に基づき説明。</p> <p>(2) マスクの考え方の見直し等について、資料2に基づき説明。</p> <p>(3) 令和5年度保育施設入園申込状況について、資料3に基づき報告。</p> <p>(4) あそびでつながる『PLAYFUL PARK』について、資料4に基づき報告。</p>		

	<p>(5) 医療的ケア児受け入れに係るガイドラインの策定について、資料5に基づき報告。</p> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭庁関連について、資料6に基づき説明。 ・病児・病後児保育室利用案内について、資料7に基づき説明。 <p>4 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1 開会</p> <p>事務局より、司会進行・開会。市長あいさつ及び各委員紹介は、新型コロナウイルス感染症対策により短時間での会議を執り行うため、割愛させていただき旨のお詫びと、会議成立要件定足数の報告。</p> <p>子ども・子育て会議は、地方自治法、木津川市子ども・子育て会議条例を設置根拠として設置される市の附属機関である旨等説明。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>年度末にも関わらずご多忙の中お集まりいただき、有難く思う。短い時間だが手元の次第に従って議事をすすめてまいりたいので、貴重なご意見をたくさん頂戴いただけることを願っている。</p> <p>本日の会議録の署名委員については、小豆委員を指名する。</p> <p>3 議事</p> <p>主な意見・質疑等はつぎのとおり</p> <p>(○：質疑・意見 ⇒：質疑に対する返答)</p> <p>(1) 第2期木津川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>〈資料1〉に基づき、内容説明。</p> <p>【質問・意見】</p> <p>○言い方の問題で気になることがあるが、「量」という言い方が法律の中で定められているのか。量は人数を表していると思うが、人を量ということに違和感を感じる。</p> <p>⇒子ども・子育て支援法に基づく計画で、国の通知によっても量という文言が使われている。議会でも違和感を感じるという指摘をいただいているが、策定の中で本市としては「量」という記載をさせていただいている。</p> <p>(2) マスクの考え方の見直し等について</p> <p>〈資料2〉に基づき説明。</p> <p>【質問・意見】</p> <p>○保護者の間でもマスクの着用の見直しについては気になっている問題だが、子ども達には活動の中でマスクをせず顔を見ながらの方が教</p>

育上良いと思うが、子どもは「大人が外せないのに子どもはマスクをしなくて良い」ということを気にしている。そこは保護者としては説明していかないといけない。なぜ大人はマスクをしないといけないのか、子どもはマスクをしていなくても周りは温かい目で見ているよということを伝えていけたらと思っている。このことを皆さんと共有したい。

⇒現在、保育施設においては、園児についてはマスクの着用はほぼしていない状況である。ただ職員は着用している。園児は体調面、また夏場の熱中症リスクによりほぼしていない状況。職員は今後、市の対応では個人の判断に委ねることになっているが、感染させないことも配慮しないとイケない。顔が見えて保育をすることが一番重要であると考えているので順次外せるような雰囲気を作っていきたいと考える。

新型コロナウイルスが発生し3年が経とうとしている。夏場の保育士のマスク着用については、2年前程前から厚生労働省通知で熱中症の関係から緩和されてきた部分もある。子どもの心理としては、大人はマスクをしていて何故子どもはしないのだろうかというのは、その頃から出ていた。引き続き保育現場からもお伝えしていくよう園長会を通じながら保育現場に浸透させていきたい。

(3) 令和5年度保育施設入園申込状況について

〈資料3〉に基づき報告。

【質問・意見】

○今回の無償化については、保護者としてはとても嬉しくありがたいと思っているが、申請しても入れなかった声も聞く中で、保育園の先生に対する対応、先生の数足りているのか、そちらにも目を向けていただきたい。

⇒国基準に基づく配置についても増員している。通常クラス担任に加え、支援を要する子どもも年々増加傾向にあり、加配保育士も増加している。正職員の保育士採用もしているが、足りない部分は会計年度任用職員として任用しているところである。保育士確保は公立・民間園ともに全体的に取り組んでいきたいと考えている。

現場の保育士は、昨今のニュースでも言われているが、例えば5歳児だと30人に対し1人の保育士となっている。しっかり保育していただくために、報酬面等色々な角度から、特に処遇改善など現場に浸透するように、公立・民間園問わずバックアップしていきたいと思っている。

○人材確保を京都府もずっとやっているが人材はどこにあるのか、この答えが出てこない。保育士を増やしたらいいのは皆納得するが、増やす保育士はどこにいるのか。潜在保育士がいるだろうと国は言うが、どうしたら人材が集まるのか。保育士を増やさないといけないルールを国は作るが、誰が探すのかとなると結局園長が探さないといけない。どうすれば保育士が増えるのか現実的な問題を考えていかないと前へは進まない。自治体が人件費の負担を行い、それが国のルールとなった事例もある。待機児童がある自治体で保育士がいなくて定員を減らした事例もあるので、保育士問題については現実的な解決に向かっていかないといけない。

(4) あそびでつながる『PLAYFUL PARK』について

〈資料4〉に基づき報告。

【質問・意見】

○保育園と小学校の子どもがおり、保護者の介入の違いでこどもの探索活動との関連を分析する予定とあるが、可能であれば大人が教えたりするのはではなく、教える側に子供が立ち、子ども同士で活動があれば分析には良い影響があるのではと思う。

⇒この研究は、子ども同士で学び教え合うということで良いことではあるが、子どもは教えられる側にあるが、そうではなく、「教えたい」ということも思っているとわかっている。場所を提供出来るかという事も含めて話をしたいと思う。

○今回の探究活動の分析ですが、分析結果を市としてどのように活用される予定かお聞きしたい。

⇒今年度、遊具を通してまた、併せてこういった研究をさせていただいている。今後もアンケートでも継続の声をいただいているので、具体的にどういった形の具体案はまだないが、研究内容は十分活用できる内容であると思っているので、本市の子どもの教育・保育にフィードバックしていきたい。

(5) 医療的ケア児受け入れに係るガイドラインの策定について

〈資料5〉に基づき報告。

【質問・意見】

○どこの保育園でも受け入れられるのか、園を指定して受入れるのか。
⇒本ガイドラインは公立を基本として作成している。保護者の希望もあるが、原則すべての公立保育所で受け入れを考えているので、拠点園は設けていない。

	<p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭庁関連について 〈資料6〉に基づき説明。 <p>【質問・意見】</p> <p>○こども家庭庁準備室のホームページを見ると出てくるが、ハードの部分しか出てこない。こども基本法、児童福祉法をどうやって調整していくのか混乱している。この中に「教育」が出てくるが文部科学省とこども家庭庁は連携するが、「教育」は文部科学省のままである。今後どのように地方自治体が行くか具体的に下りてきてからどのようにしていくかという事になるが、今回はこのような紹介があったという事に留めておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育室利用案内について 〈資料7〉に基づき説明。 <p>【質問・意見】</p> <p>○なし</p> <p>4 閉会</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>特になし</p>
<p>署名欄</p>	<p>木津川市子ども・子育て会議 会長</p> <p style="text-align: center;">安藤 和彦</p> <hr/> <p>木津川市子ども・子育て会議 委員</p> <p style="text-align: center;">小豆 佳津世</p> <hr/>